

平成 28 年度静岡市協働パイロット事業実施報告書

報告者：きやりこみゆ²

代表 井上美千子

今年度、静岡市協働パイロット事業にて実施した「高校生×社会人「高校生記者が創る静岡オトナ図鑑」～私たちが選ぶ静岡の先輩・ロールモデルブックの作成」の全業務が終了しましたので、下記のとおり報告致します。

本事業は、静岡市子ども未来局青少年育成課及び静岡県立駿河総合高等学校ときやりこみゆ²の三者協働事業として実施致しました。具体的には、駿河総合高校 1 年生 287 人が夏休み期間中に実施した「職業人インタビュー」の内容を企画・編集会議を経てロールモデルブックとして作成致しました。

記

1 委託事業の名称

平成 28 年度市自委第 8 号協働パイロット事業

「高校生×社会人「高校生記者が創る静岡オトナ図鑑」～私たちが選ぶ静岡の先輩・ロールモデルブックの作成について」業務

2 事業の目的・趣旨

静岡市内の高校において、地域の先輩、ロールモデルとなる人物にインタビューを行い、ロールモデルブックを作成する事業を実施することにより、高校生の自己有用感の向上、地元への愛着形成を図る。

3 事業期間 平成 28 年 7 月 4 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

4 実施箇所 静岡市内

5 事業実施内容の報告

①実施高校との事前打合せ

- ・実施日 平成 28 年 7 月 4 日（月） 16：00～17：00
- ・実施場所 静岡県立駿河総合高等学校
- ・参加者 静岡県立駿河総合高等学校 深澤 邦洋 教諭
- ・内容 今後のスケジュールについて
事前学習の内容について
職業人インタビューマッチングについて

②事前学習

- ・実施日 平成 28 年 7 月 6 日（水）10:45～11:35
- ・実施場所 静岡県立駿河総合高等学校 体育館
- ・参加者 静岡県立駿河総合高等学校 1 年生 283 名
- ・内容 職業人インタビューの目的
職業人インタビューの先輩の探し方
電話の掛け方

インタビューの実施方法

③職業人インタビューマッチング

- ・実施期間 平成28年7月下旬～8月下旬
- ・実施方法 高校生の興味・関心のありそうな職種約40職業のリストを生徒に公開し、インタビュー希望のあった生徒と職業人のマッチングを実施。

④企画・編集会議

【第1回】

- ・実施日 平成28年10月13日（木）13：30～15：00
- ・実施場所 静岡県立駿河総合高等学校 会議室
- ・参加者 編集委員13名
- ・内容 駿河総合高校ってどんな高校？
冊子のコンセプト会議

【第2回】

- ・実施日 平成28年10月27日（木）15：30～17：00
- ・実施場所 静岡県立駿河総合高等学校 会議室
- ・参加者 編集委員13名
- ・内容 冊子のタイトル決定
冊子に掲載したい職業について

【第3回】

- ・実施日 平成28年11月10日（木）15：30～17：00
- ・実施場所 静岡県立駿河総合高等学校 会議室
- ・参加者 編集委員13名
- ・内容 掲載職業の選定
デザイン案検討

⑤冊子作成・印刷作業の実施

- ・実施期間 平成28年12月～平成29年2月
- ・実施内容 掲載が決定した職業人インタビューの内容を高校生がパソコンに入力。職業人に内容の校正を依頼し、編集・印刷を実施。

⑥ライフデザイン講座の実施（青少年育成課主催）

- ・実施日 平成29年2月13日（月）14：20～15：10
- ・実施場所 静岡県立駿河総合高等学校 体育館
- ・講師 【指導者】浜松学院大学 教授 的場 啓一 氏
【ファシリテーター】静岡大学 学生 17名 ※当日は、12名参加

⑦事後学習

- ・実施日 平成29年3月17日（金）10：45～11：35
- ・実施場所 静岡県立駿河総合高等学校 体育館
- ・内容 職業人インタビュー実施の流れと感想
編集・企画会議の実施と冊子完成までの流れの感想
※各クラスの事後学習は担任の先生運営の元、9月第1週に職業人インタビューの内容を共有する学習を実施。

⑧田辺静岡市長への完成報告の実施

- ・実施日 平成29年3月24日（金）9：00～9：20
- ・実施場所 静岡市役所 9階 市長公室

- ・参加者 静岡県立駿河総合高校 生徒7名
静岡県立駿河総合高校 深澤 邦洋 教諭
きやりこみゆ² 井上 美千子
常葉大学 造形学部 大石 叶夢 (冊子デザイン担当)
- ・内容 高校生代表より冊子手交
高校生より冊子作成の報告・市長との懇談

⑨事前アンケートの実施

- ・実施時期 平成28年7月

⑩事後アンケートの実施

- ・実施時期 平成28年9月

【事前・事後アンケート結果】

1. 私は自分の将来に希望を持てる

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	合計
事前	29	127	102	18	276
	11%	46%	37%	7%	
事後	68	155	42	6	271
	25%	57%	15%	2%	

2. 自分の将来は自分で動けば変えられると思う

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	合計
事前	87	156	27	6	276
	32%	57%	10%	2%	
事後	120	130	17	4	271
	44%	48%	6%	1%	

3. 自分のなりたい理想像や将来の夢がある

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	合計
事前	87	130	45	14	276
	32%	47%	16%	5%	
事後	81	135	48	7	271
	30%	50%	18%	3%	

4. 私は学校生活の過ごし方を変えようと思っている

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	合計
事前	46	133	85	12	276
	17%	48%	31%	4%	
事後	61	144	58	8	271
	23%	53%	21%	3%	

5. より納得した進路選択をするためにできることに取り組みたい

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	合計
事前	137	127	9	3	276
	50%	46%	3%	1%	
事後	139	112	18	2	271
	51%	41%	7%	1%	

6. 私は自分の住んでいる地域(市町)が好きだ

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	合計
事前	97	135	34	10	276
	35%	49%	12%	4%	

7. 私は将来(30歳になった時)、静岡で暮らしたい。

	はい	いいえ	わからない	合計
事前	73	56	147	276
	26%	20%	53%	

8. 自分は誰かの役に立っていると思う

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	合計
事前	11	97	144	24	276
	4%	35%	52%	9%	
事後	21	112	116	22	271
	8%	41%	43%	8%	

9. 自分にはよいところがあると思う

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	合計
事前	28	124	104	20	276
	10%	45%	38%	7%	
事後	23	122	108	18	271
	8%	45%	40%	7%	

10. 職業人インタビューを実施して自分の住んでいる地域にも素敵な社会人がいることに気づいた

	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	合計
事後	117	107	40	7	271
	43%	39%	15%	3%	

【実施した高校生の感想(職業人インタビュー事後アンケートより抜粋)】

- ・インタビューする前は、今決めた夢を叶えて、その仕事をずっとしなきゃいけないのかなあと思っていました。でも、インタビューをして、働き方はいろいろあることがわかりました。途中から全く違う仕事をしたり、やっていた事と組み合わせた仕事をしたり、今まで知らなかった働き方がたくさんあって学びを広げることができました。
- ・今回、職業人インタビューを通して改めて自分の将来について考えることができました。また、その職業の人に直接話を聞くことで、初めて知ったこともたくさんありました。
- ・忙しい中、インタビューさせてくれてよかったし、私がインタビューした方がまた仕事のことについて聞いていいよと言ってくれたのでよかったです。私がやりたい仕事はチームプレイで仕事ができるので、コミュニケーション力をつけたいです。
- ・実際に会って話を聞くと、今まで知らなかったこと、勘違いしていたことがたくさんあった。そしてやりがいなどを聞き、更にこの職業に就きたいと感じた。「またなんかあったら聞いてね」と言ってくれたので、またいろいろ聞きたい。人脈が広がった。
- ・僕が将来なりたい職業は内容が漠然としてわかっていなかったが、今回インタビューしてより具体的な内容がわかって本当によかったと思った。こういう場があることは本当に大切に、自分の夢へ一歩近づけたと思った。

- ・理学療法士の仕事をしている人と話すのは2回目だったけど、どの人も辞めたいと思った人はいなかったです。大変なことはたくさんあるけどそれ以上に喜びが大きいからです。私もその感情を味わってみたいのです。
- ・職業人インタビューをしたことによって、今まで知らなかったことや、知っているけどわかっていなかった部分もわかることができ良かったと思います。初めて電話そして初めて会ったのに優しく自分の仕事のことを教えてくれてとても嬉しかったです。わたしもそういう大人になりたいと心から思いました。
- ・最初はあまり乗り気ではありませんでしたが、終わった後はやって良かったと本当に思いました。この経験を将来に生かしていきたいです。
- ・実際働いている人からインタビューをしてみて、今までの知識以上に知ること、感じる事が多くありました。これからの将来の夢へ向かっていくためにすごく良い勉強になったと思いました。
- ・自分が思っている以上に大変な仕事だったり、やりがいを知ることができ、とてもためになりました。これからの進路選択に役立てたいです。
- ・自分で調べた範囲ではわからない部分が知れました。特に仕事をやっている上でのやりたいなどについて知ることができました。
- ・インタビューを自分のやるべきことが少しまとまった。でも、今の学力や成績では夢は叶えられないかもしれない。今から変われるように全力で努力する。
- ・職業人インタビューをしたことで、社会人としての苦勞や厳しさを改めて感じる事ができ、とても勉強になりました。

6 実施の結果

(1) 協働の効果

- ・事前・事後アンケートの結果から、「私は自分の将来に希望を持てる」の割合（とてもそう思う・まあそう思う）が実施前 47%から実施後 82%と大幅に増えており、高校生の将来に対する希望に繋がったことが窺えた。また、事後アンケートでは「職業人インタビューを実施して自分の住んでいる地域にも素敵な社会人がいることに気づいた」の割合（とてもそう思う・まあそう思う）が 83%となっており、高校生の選択肢の幅を広げることに繋がったと感じる。
- ・職業人マッチングでは、静岡市子ども未来局青少年育成課と協働で実施することで看護師・保育士・消防士・公務員など高校生の興味・関心の高い職業の社会人を効率的に紹介することができた。また、静岡市との協働による信頼性の担保により、その他の社会人・企業からも職業人インタビューの実施を快諾頂けたと感じる。
- ・高校からは、先生の人脈だけでは紹介できない職業を高校生にマッチングすることができたことを評価頂いた。
- ・編集委員会に参加した高校生からは、仲間の一つの冊子を創りあげるプロセスを通して達成感を感じたといった感想が寄せられた。編集会議実施後にファシリテーションに関心を持つ生徒がおり、コミュニケーションの重要性に気づく機会となったことが窺えた。
- ・職業人インタビューを実施頂いた社会人からは、インタビューを通して改めて、自分を見つめ直す良い機会になったという感想が寄せられた。

(2) 今後への提言（当団体としての今後の方向性）

- ・多くの高校生は日常の学校生活で社会人と接する機会や将来について具体的に考える機会がほとんどない状況である。また、学校は「社会に開かれた教育課程」を推進し、学校と地域が連携・協働していくことが求められている。本事業を実施し、今後より一層高校生が地域の社会人と接し、将来を考える多様な機会を提供していくことが重要であると感じた。そこで、静岡市内のより多くの高校に社会人インタビューの提案を提案していきたいと考えている。

- ・同様に、より多くの高校に冊子を配布できるよう、今後は広告による企業協賛も検討していきたい。

7 感想（所感）

【工夫した点】

- ・事前学習では高校生が主体的に職業人インタビューに取り組めるように、ロールプレイングを盛り込み実践的な指導を実施した。
- ・職業人マッチングでは、極力高校生の希望の職業を紹介できるよう努めた。
- ・編集会議では、高校生の意見を引き出すためファシリテーション技法の一つであるKJ法を用い、ブレインストーミングを繰り返すことで、高校生の考えを引き出すように運営した。

【よかった点】

- ・駿河総合高校の担当教諭、静岡市子ども未来局青少年育成課・当団体の3者の協働で実施する意義を高校側にもご理解頂き、打ち合わせや役割分担等を明確にした上で調整を効率的に実施することができた。
- ・編集会議は、毎回高校生の熱気で溢れ、活発な会議を実施することができた。
- ・高校生に静岡で活躍する地域の先輩・ロールモデルと出会う機会を提供できた。

【苦勞した点】

- ・夏休み期間中の職業人インタビューだったため、部活等で忙しく、社会人への連絡が夏休み後半になってしまう高校生も多かった。依頼していた社会人の方々のスケジュールもあるため、来年度はスケジュール調整に改善が必要である。
- ・校正作業は予想以上に時間がかかり、大変であった。高校生の作成した記事をインタビュー対象の社会人に確認頂くと大幅に内容の変更が発生するケースもあった。来年度は夏休み期間中の職業人インタビューの精度をあげていくと同時に、高校の先生（特に各担任の先生）にも校正にご協力頂く体制を構築していきたい。
- ・編集作業は全般的に、タイトなスケジュールであった。要因としては、社会人への原稿確認に予想以上に時間がかかった点と三者協働のため原稿確認に余裕が必要であった点が挙げられる。来年度は、今年度の反省を踏まえ、入稿までのスケジュールを事前に徹底しきちんと遵守していきたい。

8 協働・協力機関

静岡市子ども未来局 青少年育成課

9 担当スタッフ

- (1) 全体統括・編集・校正：井上美千子
- (2) 編集会議資料作成：天野浩史
- (3) 編集会議ファシリテーター：古川未帆
- (4) デザイン協力：常葉大学 造形学部 岩堀みちる・大石叶夢・野田玲亜
- (5) 撮影協力：常葉大学 造形学部 小林亜嵐

【参考：実施写真】

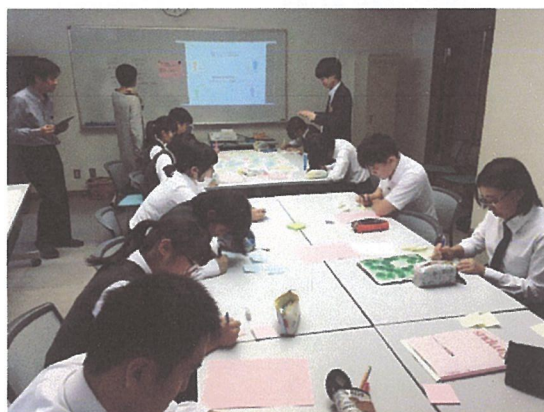
2016.7.6 事前学習



夏休み期間中 職業人インタビュー実施



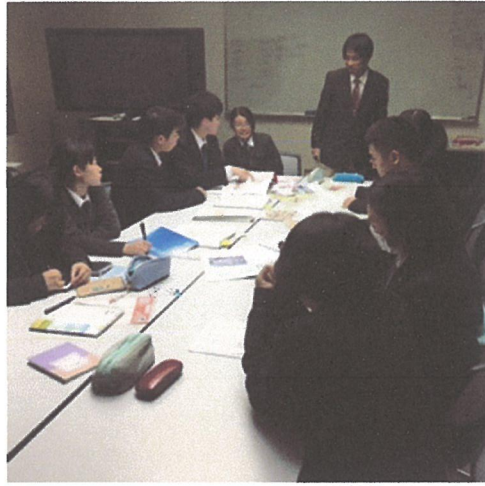
2016.10.13 第1回編集会議



2016.10.27 第2回編集会議



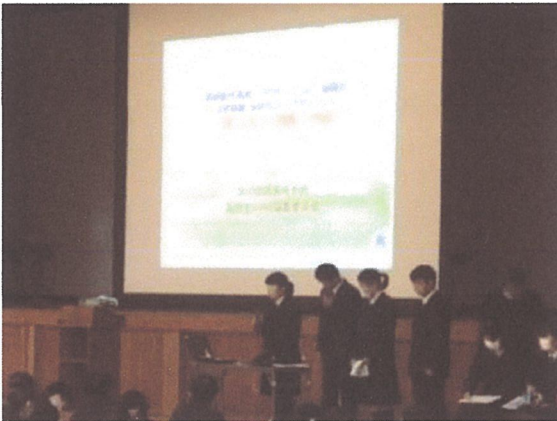
2016.11.10 第3回編集会議



2017.2.13 ライフデザイン講座（青少年育成課主催）



2017.3.17 事後報告会



2017.3.24 市長報告会

